

ひまわり

2026年(令和8年)5月1日 福山市立山手小学校

ひまわりを育てるよ！ (ローズ学級)

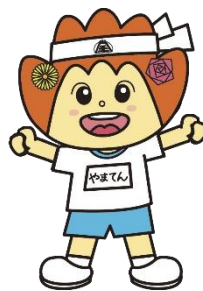
4月30日(木)、地域の長谷さんをお招きし、ローズ学級のこどもたちに、「ひまわり」について教えていただきました。本来は、種のまき方を教えていただき、一緒に種をまく予定でしたが、あいにくの雨のため、理科室でお話していただきました。昨年度、長谷さんの畑で育てられたひまわりから採れた種をたくさんいただいており、今年度は「花いっぱい山手小学校」を目指して、花壇にひまわりを育てていく予定です。当日は、紙芝居を交えながら、種にも太った種とやせた種があること、種をまく深さは2cmくらいがちょうどよいこと、土は布団のような役割をすることや、今まくと花が咲くのは7月半ば頃であることなど、たくさんのお話を分かりやすく教えていただきました。また、水やりの大切さについても学びました。

クイズ形式でも楽しく教えていただき、「一つの花からどれくらい種がとれるのか」「種は食べられるのか」「水やりはいつどのくらい行うのか」「肥料はいつ頃やればよいのか」など、こどもたちの興味が広がる時間となりました。

夏休み明けには、咲き終わった後のひまわりでも楽しめるとのこと、今からとても楽しみです。



長谷さんからいただいた、たくさんのひまわりの種



「一輪のひまわりからなんと500個から1000個の種がとれます。多いものでは、2000個ほどになることもあります。」



「ひまわりは、咲いた後も長く楽しむことができる花です。」